

ONTAPクォータサイズがボリュームサイズ以下またはそれ以上の場合、クライアントのqtreeクォータに使用可能なサイズで想定される動作はどれですか。

https://kb-ja.netapp.com/Cloud/Amazon_FSX/What_is_expected_behavior_with_available_size_for_qtr...

Updated: 水, 21 5 2025 08:00:08 GMT

環境

- Amazon FSx for NetApp ONTAP
- Windows / Linuxクライアント
- ONTAP 9
- ONTAPクォータサイズとONTAPボリュームサイズ

回答

- クォータを大きくしても、報告されるスペース量には影響しません。
- 使用可能なスペースはボリューム/アグリゲートに基づいているため、値を大きくしても影響や変更はありません。

想定されるシナリオと値の例：

- シナリオ**1**：クォータが全体的なアグリゲートサイズよりも大きい場合
 - クォータ：200GB
 - ボリューム：500GB
 - アグリゲート：150GB
- シナリオ**観察**/シナリオ1の想定される動作：
 - クォータがaggr sizeよりも大きい場合、Windowsに反映される共有/ボリュームのサイズはアグリゲートのサイズ（150GB）です。
- シナリオ**2**：クォータサイズを100GBに縮小し、ボリュームやアグリゲートのサイズよりも小さくします。
 - クォータ：100GB
 - ボリューム：500GB
 - アグリゲート：150GB
- シナリオ**観察**/シナリオ2の想定される動作：
 - クォータがアグリゲートおよびボリュームのサイズよりも小さい場合、Windowsに反映される共有/ボリュームのサイズは、クォータのサイズ（100GBなど）です。
- シナリオ**3**：qtreeに関連付けられたクォータが ボリュームの使用可能なサイズよりも大きい場合。
 - qtreeのクォータ：100GB
 - ボリューム：500GB /使用可能容量：50GB
 - アグリゲート：600GB /使用可能：400GB
- シナリオ**観察**/シナリオ3の想定される動作：
 - クォータが ボリューム の使用可能サイズよりも大きい場合、Windowsに反映される共有/ qtreeのサイズは、ボリュームのサイズ（500GBなど）です。

追加情報

上記の2つのシナリオの条件を検証するときに実行するコマンド：

- 1.使用可能なクォータとその制限を確認するには、次の手順を実行します。

```
Cluster::> volume quota report -vserver NAS -volume NAS_voll
Vserver: NAS
```

Volume	Tree	Type	ID	Used	Limit	Used	Limit	Specifier
NAS_voll	quotaTest	tree	2	0B	100TB	1	-	quotaTest

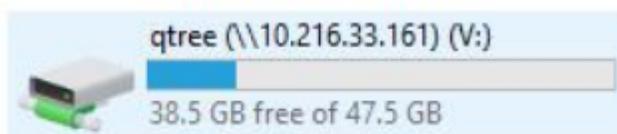
2. 制限をアグリゲートのサイズと比較します。

```
Cluster::> aggr show aggr1_cluster_01 -fields size, availsize
aggregate          availsize size
-----
aggr1_cluster_01 38.52GB    47.46GB
```

3. 全体的なボリュームサイズ：

```
Cluster::> vol show NAS_voll -fields used, size, percent-snapshot-space
vserver volume    size used    percent-snapshot-space
-----
NAS      NAS_voll 50GB 8.17GB 5%
```

4. Windowsクライアントで観察可能な共有サイズは、使用可能なアグリゲートサイズのもので。



注：上記の共有のスクリンショットではqtree はWindows共有名を示しています。

5. 確認するために、上記の共有が quotaTest 上記の手順でqtree にマッピングされていることを確認します。

```
NAS          qtree          /NAS_voll/          oplocks          -
Everyone / Full Control
quotaTest          browsable
changenotify
show-previous-versions
```